

≫≫ お知らせ

中央区まちかど展示館スタンプラリーがはじまりました

当館も参加している「中央区まちかど展示館」22館のオリジナルスタンプが完成しました。各館それぞれの特徴を活かしたデザインで、当館はカードボックスの前に映画『男はつらいよ』と歌舞伎『義経千本桜』の台本が描かれたスタンプとなっています。スタンプは通年設置いたしますので、お近くにお越しの際はぜひスタンプラリーもお楽しみください。当館の紹介記事も掲載されている『中央区まちかど展示館』季刊誌 Vol.02「銀座・京橋／月島編」にラリーシートが載っています。また、7月20日より夏休み限定企画として、専用のシートでエリア毎に決まった数のスタンプを計4個以上集めて応募すると、抽選で景品が当たる「夏休みスタンプラリー」も開催中です。以下、当館スタッフが近くの展示館を巡った体験レポートです。

中央区まちかど展示館 夏休みスタンプラリー、やってみました！

体験者：酒井恵

7月20日(木)から8月31日(木)まで開催中の「中央区まちかど展示館 夏休みスタンプラリー」。中央区のまちかど展示館では、小さな老舗内の伝統工芸品を飾ったショーケースから企業のものづくりや歴史の展示あるいは下町の祭事に使用するお神輿を展示したものなど、規模や展示方法はそれぞれですが、中央区が誇る文化の一端を垣間見ることができます。このスタンプラリーをきっかけに、中央区の“ちょっとすごい”に触れてみませんか。

今回のスタンプラリーは、「夏休みスタンプラリー スタンプシート」に記載されている、16カ所のまちかど展示館の中から、銀座・京橋地区(ピンク色の枠)と月島地区(緑色の枠)より2カ所、日本橋地区(紫色の枠)より2カ所、計4カ所以上を巡り、各館のスタンプを押して集めます。スタンプを集めたスタンプラリーシートを「写真にとってメール」または「FAX」にて応募すると、抽選で素敵な景品が当たります。休館日や開館時間などは、各館毎に違うので、詳しくは、中央区まちかど展示館のHP<http://chuoku-machikadotenjikan.jp/news/stamp rally.html>をご覧ください。

せっかくなので、酒井もスタンプラリーに挑戦してみました。今回、巡ることにしたのは、足袋の博物館(02番、ピンク色枠)、松竹大谷図書館(04番、ピンク色枠)、楊枝博物館(06番、紫色枠)、伊場仙浮世絵ミュージアム(09番、紫色枠)の4館です。地図を見てみると、それぞれ少しずつ歩けば、日比谷線だけで、回れるかも?!と思いついたので、「日比谷線だけで巡る」というミッションも独自に追加して、スタンプラリースタートです!



▲松竹大谷図書館のスタンプはコレ!!『男はつらいよ』のロゴはホンモノです!

まずは、松竹大谷図書館。図書館のエントランス奥に、スタンプ台があります。松竹大谷図書館の閲覧室では、演劇や映画の台本・プログラムなどを閲覧することができます。先日、スタンプラリーで当館を訪れた小学生の女の子が、閲覧室で『ドラえもん』などのアニメ映画プログラムを楽しんでいってくれました。



▲松竹大谷図書館スタンプ台の赤ワゴン(スタッフの間では赤い彗星と呼ばれています)



▲趣きのある大野屋の外観

次は徒歩で「足袋の博物館」へ向かいます。

新富町駅のほど近くにある「足袋の博物館」を運営している大野屋の建物は、国の登録有形文化財に登録されている大正末期の木造建築で、とても風情があります。ここでは安永年間(1772-1781年)に創業した「大野屋總本店」がつくり続けてきた様々な足袋を見ることができます。建物の外側のガラスばりの展示ケースでは、職人さんが丁寧に仕上げた足袋や、縁起物の8センチほどの可愛い「福足袋」など、店内にある展示棚には、自分の足袋のサイズの目安が一目でわかる表や、昔使っていたアイロン、11代目市川海老蔵文が『助六由縁江戸桜』で使用しているのと同じ黄色の足袋なども展示されています。

スタッフの方に出していただいた「足袋の博物館」のスタンプを押して2つ目をGET!そこから歩いて八丁堀駅へ行き、日比谷線で小伝馬町駅へと移動します。



▲「足袋の博物館」のスタンプ

小伝馬町駅から10分程歩いたところにある「伊場仙浮世絵ミュージアム」は、天正18(1590)年に創業した団扇と扇子の老舗、伊場仙が運営するまちかど展示館です。

伊場仙は創業当時から扱っていた和紙や竹材を活かし、初代・歌川豊国、歌川国芳、歌川広重ら人気浮世絵師の版元となって手掛けた浮世絵入りの団扇などで人気を博してきました。店舗右側、本社ビルの入口からエレベーターホールまでつづくショーウィンドウでは、毎月テーマを変えて、浮世絵や版木、現代作家の作品などが紹介されています。店舗のカウンターでスタッフの方をお願いして出していただいたスタンプを押して、3つ目をGET!



▲「伊場仙浮世絵ミュージアム」のスタンプ



▲400年以上の歴史を誇る伊場仙

今度は、そのまま歩きで「楊枝資料館」へと向かいます。

日本橋の「コレド室町」のほど近くにある小路に入ると、白壁に涼しげな濃紺の暖簾が下がった「さるや」があります。宝永元年(1704)年より続く、日本で唯一の楊枝専門店、「楊枝資料館」の運営もしています。江戸時代、今でいう歯ブラシ代わりに、身だしなみの一つだった楊枝。さるやの楊枝はすべて、「黒文字(くろもじ)」というクスノキ科の植物で、一本一本職人の手で削り出して作られています。店内の展示コーナーでは、横長の額に収められた職人の繊細な手仕事の一端が垣間見える細工楊枝の数々や、江戸時代のさるやの店先の様子が描かれた浮世絵なども見られます。

お店のカウンターでスタッフの方にスタンプを出していただき、4つ目のスタンプをGETしました!



▲「楊枝資料館」のスタンプ



▲白と濃紺のコントラストが美しいさるや

4カ所を巡って、ここまでの所要時間は約2時間。「日比谷線で移動する」という独自ミッションも併せて達成し、スタンプラリー完了です。松竹大谷図書館をスタートし、江戸時代から現代まで人々の生活を彩り豊かにし、粋な江戸文化を支えてきた三つのお店が運営するまちかど展示館を巡るスタンプラリーで歩いた数は6000歩以上!案内通りの最寄り駅を使って効率的に移動するのもいいけれど、普段は降りたことのない駅を使って道に迷いながら歩いてみると、知らない景色や、歩く途中で発見したお店なども巡り合うことができ、短時間なのにまるで小旅行のようでした。中央区を巡る「江戸バス」なども使ってみるのも新たな発見があって楽しそうです。中央区にある歴史あるお店やスタンプラリーを楽しみながら、江戸の文化を支えた職人の技に触れ、歴史・文化などを学ぶことのできる「まちかど展示館」巡りをしてみてはいかがでしょうか。

■ 松竹系 7月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『矢の根』	○			
	『盲長屋梅加賀鳶 加賀鳶』	○		○	○
	『連獅子』				
	『通し狂言 駄右衛門花御所異聞』	○			
新橋演舞場	『お江戸みやげ』	○		○	○
	『紺屋と高尾』	○			
松竹座 (大阪)	『夏祭浪花鑑』	○			
	『二人道成寺』			○	○
	『再春菘種蒔 舌出三番叟』				
	『通し狂言 盟三五大切』	○			
地方巡業 (中央コース)	『妹背山婦女庭訓 三笠山御殿』	○			
	『五代目中村雀右衛門襲名披露口上』			○	
	『太刀盗人』	○			
地方巡業 (東コース)	『猩々』				
	『八代目中村芝翫四代目中村橋之助三代目 中村福之助襲名披露口上』			○	
	『一谷嫩軍記 熊谷陣屋』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

あうるすぽっと	6月	新劇交流プロジェクト『その人を知らず』プログラム
王子小劇場	6月	ロデオ★座★ヘヴン『大帝の葬送』プログラム
紀伊國屋ホール	6月	幻冬舎 Presents 扉座『郵便屋さんちょっと』プログラム
吉祥寺シアター	6月	文学座『中橋公館』プログラム
青年団	6月	『さよならだけが人生か』プログラム、台本
国宝松江城馬溜特設舞台	7月	「国宝松江城特別歌舞伎公演」台本
国立劇場小劇場	6月	『日本音楽の流れI 箏』プログラム
		『文楽若手会』プログラム
	7月	『びわ湖長浜曳山まつり東京公演』プログラム
国立劇場大劇場	7月	歌舞伎鑑賞教室『一條大蔵譚』プログラム
シアター711	6月	ウォーキング・スタッフプロデュース『怪人21面相』プログラム
シアタートラム	7月	風琴工房『PENALTY KILLING』プログラム
下北沢駅前劇場	7月	TRASHMASTERS『不埒』プログラム
下北沢「劇」小劇場	6月	劇団フルタ丸『ノーマークだった6人』プログラム
		現代カナダ演劇最新作連続公演『屠殺人ブッチャー』プログラム、台本
	7月	現代カナダ演劇最新作連続公演『ベルリンの東』プログラム
	6月	リーディング『おーい、救けてくれ!』プログラム
新国立劇場中劇場	7月	日本の演劇人を育てるプロジェクト『SCRAP』プログラム
Space早稲田	6月	CLIE『おんすてーじ真夜中の弥次さん喜多さん』プログラム
スペース・ゼロ	7月	鶴的『奇想の前提』プログラム
テアトルBONBON	7月	『レ・ミゼラブル』プログラム
帝国劇場	6月	劇団昴『アルジャーノンに花束を』プログラム
俳優座劇場	7月	『新版 喜劇 売らいでか! 亭主売ります』プログラム
		『ミュージカル グレート・ギャツビー』プログラム
博多座	7月	『キャサリン・ヘップバーン 夢の請負人』プログラム
		『新作ミュージカル あこがれのファッションショー』プログラム
博品館劇場		Diamond★Dogs『HAPPY!HAPPY!HAPPY!』プログラム
明治座	7月	『ふるあめりかに袖はぬらさじ』プログラム

(新着資料案内 続き)

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『東京喰種 トーキョーグール』	○	○	○		○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

- 『ライフ』
- 『黄金のメロディ マッスル・ショールズ』
- 『ジョン・ウィック：チャプター2』
- 『メアリと魔女の花』
- 『パイレーツ・オブ・カリビアン 最後の海賊』
- 『こっぴみじん』
- 『銀魂』
- 『劇場版ポケットモンスター キミにきめた!』
- 『怪盗グルーのミニオン大脱走』
- 『カーズ クロスロード』
- 『残されし大地』
- 『ボンジュール、アン』
- 『忍びの国』
- 『エブリシング』

■ 演劇雑誌 ■

- 『Confettiかわら本』2017年7月号
- 『JPL』2017年 Summer No. 66
- 『SePT倶楽部 information』
2017年6月号,7月号
- 『the座』2017年88号増補改訂版
- 『あぜくら』2017年7月号
- 『えんぶ』2017年8月号
- 『つどい』47号
- 『シアターガイド』2017年9月号
- 『ステージぴあ』2017年7+8月号
- 『テアトロ』2017年7月号臨時増刊号演劇名鑑
2018年度版,8月号
- 『ミュージカル』2017年月号
- 『ラ・アルプ』2017年8月号
- 『演劇界』2017年9月号,2017年9月号特別付録
「やさしい舞台の知識」
- 『喝采』2017年11月,11月特別号「GACHI」「水森
英夫ファミリー 歌の競演」「由紀さおりコン
サート2017」
- 『義太夫』105号
- 『国立演芸場公演ガイド』平成29年8月号
- 『長唄』121号
- 『伝統文化新聞』2017年(134号),暑中号
- 『日本演劇興行協会会報』2017年(52号)
- 『日本芸術文化振興会ニュース』平成29年8月号
- 『日本照明家協会誌』2017年7月号
- 『日本舞踊』69巻8月号
- 『悲劇喜劇』7月号,9月号
- 『邦楽の友』平成29年8月号

■ 映画雑誌 ■

- 『NFCカレンダー』2017年7月-9月号
- 『NFCニューズレター』2017年7月-9月号
- 『SCREEN』2017年9月号
- 『TVガイド』2016年12/17-2017年1/16号,2016
年12/30-2017年1/13号,2017年1/20号,1/27
号,2/3号,2/10号,2/17号,2/24号,3/3
号,3/10号,3/17号,3/24号,3/31号,4/7
号,4/14号,4/21号,4/28号,5/5号,5/12
号,5/19号,5/26号,6/2号,6/9号,6/16
号,6/23号,6/30号,7/7号,7/14号,7/21
号,7/28号,8/4号
- 『エキブ・ド・シネマ』2017年No.217
- 『キネマ旬報』2017年8月上旬特別号,8月下旬号
- 『ザ・テレビジョン』2016年12/23-12/30-2017
年1/16合併号,2017年1/20号,1/27号,2/3
号,2/10号,2/17号,2/24号,3/3号,3/10号,3/17
号,3/24号,3/31号,4/7号,4/14号,4/21
号,4/28号,5/5号,5/12号,5/19号,5/26
号,6/2号,6/9号,6/16号,6/23号,6/30号,7/7
号,7/14号,7/21号,7/28号,8/4号
- 『シナリオ』2017年9月号
- 『シナリオ教室』2017年8月号
- 『ドラマ』2017年8月号
- 『ロケーションジャパン』2017年8月号
- 『映画テレビ技術』2017年8月号
- 『映画秘宝』2017年9月号
- 『映画論叢』2017年(45号)
- 『衛星劇場プログラムガイド』2017年8月号
- 『月刊ドロキ・ユキコ』36号
- 『黒澤明研究会誌』2017年37号
- 『松竹(社報)』2017年(200号)
- 『東映キネマ旬報』2017年夏号Vol.29
- 『日経エンタテインメント!』2017年8月号
- 『友 Iwanami Hall』2017年夏号

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書 籍 ■

『昭和の歌藝人三波春夫』	三波美夕紀（著）	さくら舎 ユーキャン
『三波春夫の世界 鑑賞アルバム歌藝の真髓』		
『舞台の記憶 忘れがたき昭和の名演名人藝』	矢野誠一（著）	岩波書店
『三谷幸喜のありふれた生活14 いくさ上手』	三谷幸喜（著）	朝日新聞出版
『評論日本身体表現史 古代・中世・近世』	平野英俊（著）	日本舞踊社
『映画に見る日米相互イメージの変容』	池田淑子（著）	大阪大学出版会
『金田一耕助映像読本』		洋泉社
『本当におもしろい警察&スパイ映画100本』		エンターブレイン
『映画活動報告書 平成二十六（2014）年度』		日本映画製作者連盟
『映画年鑑 2017』		キネマ旬報社
『JAPANESE FILM 2017』		Unijapan
『ポスター芸術の革命ロシア・アヴァンギャルド展ステンベルク兄弟を中心に』	東京都庭園美術館（編）	東京都庭園美術館
『映画館名簿 2017年版』	日本映画製作者連盟配給部会（編集）	キネマ旬報社
『日本映画はアメリカでどう観られてきたか』	北野圭介（著）	平凡社
『米軍統治時代の沖縄映画史 興行、制作、受容の独自性をめぐって』	世良利和（著）	蜻文庫
『沖縄映画史の復元 戦前編』	世良利和（著）	蜻文庫

≫≫ 資料提供（2017年6月～7月）

※許可を得た方のみ掲載しております

出版

- 『キネマ旬報ベスト・テン90回全史（1924～2016）』 2017年7月11日 キネマ旬報社
映画スチール写真『祇園の姉妹』を提供

プログラム掲載

- 「六月大歌舞伎」 2017年6月2日～26日 歌舞伎座
台本『八幡祭夜宮の賑』『名月八幡祭』『男達ばやり』『一本刀土俵入』『臉の母』の表紙カットを公演プログラムの記事に提供
- 「中村橋之助改め八代目中村芝翫襲名披露 中村国生改め四代目中村橋之助・中村宗生改め三代目中村福之助・中村宜生改め四代目中村歌之助襲名披露 六月博多座大歌舞伎」 2017年6月2日～26日 博多座
写真集『魁玉歌右衛門』より四世中村芝翫（『助六』）と五代目中村歌右衛門スチール写真（『伽羅先代萩』大正3年4月歌舞伎座）を公演プログラムの記事に提供
- 「公文協中央コース 松竹大歌舞伎 中村芝雀改め五代目中村雀右衛門襲名披露」 2017年6月30日～7月30日 地方巡業
三代目中村雀右衛門スチール写真（『近江源氏先陣館』『櫓のお七』）を公演プログラムの記事に提供
- 「公文協東コース 松竹大歌舞伎 中村橋之助改め八代目中村芝翫襲名披露 中村国生改め四代目中村橋之助襲名披露 中村宗生改め三代目中村福之助襲名披露」 2017年6月30日～7月31日 地方巡業
写真集『魁玉歌右衛門』より四世中村芝翫（『熊谷陣屋』）と五代目中村歌右衛門（『桐一葉』）を公演プログラムの記事に提供
- 「七月大歌舞伎」 2017年7月3日～27日 歌舞伎座
図書『黙阿弥』より河竹黙阿弥肖像写真を公演プログラムの記事に提供

上映

- 「映画監督小津安二郎企画展 家族の絆・中条家の人々」映画上映 2017年7月2日 三重県松阪市文化財センター第3ギャラリー
歌舞伎映画『鏡獅子』を提供

組上燈籠絵復刻版、リブロ東銀座店でも販売開始！



【第5弾】プロジェクトのご支援により作成した組上燈籠絵復刻版【芝居絵ペーパークラフト】3作品を、リブロ東銀座店でも販売して頂くことになりました。築地にある当館向かいの東劇ビル1階の書店です。レジ近くの店頭「石橋」の完成見本を展示、その下に商品を置いて頂いています。英語の解説のポップもあり、築地を訪れる外国人旅行者さんへのアピールもばっちりです。歌舞伎座や新橋演舞場ご観劇や東劇での映画鑑賞の際はぜひお立ち寄りください！

■夏期特別整理休館のお知らせ■
 平成29年8月16日(水)より
 8月29日(火)まで
 資料整理のため休館いたします。
 8月30日(水)より通常どおり
 開館いたします。
 ※尚、31日は月末最終木曜日にあたるため休館となります

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2017（平成29）年7月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座
 歌舞伎座サービス株式会社
 歌舞伎座舞台株式会社
 松竹株式会社
 松竹衣裳株式会社
 株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社
 松竹芸能株式会社
 株式会社松竹サービスネットワーク
 松竹ブロードキャスティング株式会社
 株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます



● 利用案内 ●
 開館時間
 平日午前10時～午後5時
 休館日
 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
 ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。
 入館料 無料
 閲覧 館内閲覧のみ
 ● 交通案内 ●
 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

編集・発行 公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / TEL 03-5550-1694

公式 HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式 Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>